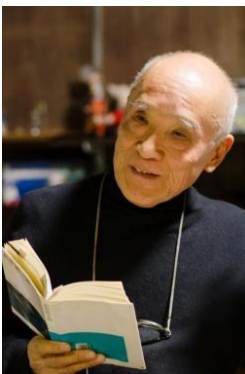


～作曲家自身の指揮による合唱演奏 詩人 谷川俊太郎氏のトークセッション～
作曲家・合唱指揮者 松下耕 × 詩人 谷川俊太郎

世界が注目する2人の芸術家による初共演

作曲家、合唱指揮者の松下耕が音楽監督を務める合唱団の同盟（アライアンス）である「耕友会」は、2月2日（日）16時より第一生命ホール（東京 晴海）にて、「松下耕が描く谷川俊太郎の世界 ～第7回耕友会コンサート 合唱で語る 谷川俊太郎のことば～」と題し第7回目となる演奏会を開催いたします。



■2004年NHK全国学校音楽コンクール課題曲を含め、今の時代だからこそ聴かせたい作品を自選

2004年 第71回NHK全国学校音楽コンクール中学校の部課題曲として詩が書き下ろされ、作曲された「信じる」を含め、多岐にわたる谷川俊太郎氏の詩と松下耕の合唱作品の中から作曲者自身が選んだ「女声合唱」「男声合唱」「混声合唱」それぞれの作品を、自らの指揮でお届けします。

■混声合唱とピアノのための「そのひとがうたうとき」4手ピアノ伴奏版 世界初演

谷川俊太郎 詩 松下耕 作曲 の合唱作品として長く親しまれている「そのひとがうたうとき」は、これまでもオリジナル版の他にオーケストラ版、中国語版などでの演奏が行われてきましたが、本演奏会においては新たに「4手ピアノ伴奏版」を世界初演致します。

■詩人 谷川俊太郎氏を特別ゲストとしてお迎えします

当日は谷川氏をお迎えし、各作品に関するお話や合唱と詩についてのお話などを直接語って頂きます。

谷川俊太郎氏は詩人としての認知度はもとより、数多くの作曲家が合唱作品を作曲するなど合唱作品との関わりも深く、当日のトークセッションへの関心の声も多く寄せられています。

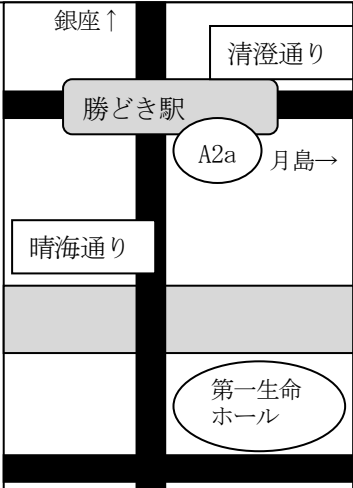
■公益財団法人日本伝統文化振興財団によりCD音源化予定

本演奏会は公益財団法人日本伝統文化振興財団の協力でライブ録音をCD音源、トークセッションの映像などもPCで再生できる、CDエクストラの形態として発売することが予定されています。

■松下耕は2014年 World Youth Choir 指揮者に就任。世界的な注目度の高まる中での演奏会開催

松下耕は国際合唱連合（IFCM）と青少年音楽国際連合（FIJM）が共同で年に一回主催している、世界規模の国際合唱団、世界青少年合唱団（World Youth Choir = WYC）の2014年指揮者に就任。1989年にWYCが結成されて以来、日本人の指揮者就任は1997年（日本開催）の田中信昭先生につづいて2人目であり、今世界でも非常に注目度の高い指揮者の1人です。

WYCは主催国（2014年はクロアチア）及び近隣の諸外国にて演奏会を開催しています。また、ユネスコが1996年、WYCに対し”Artist for Piece”の称号を与えるなど、単なる芸術プロジェクトの枠を超え平和親善大使としての大きな役割も果たしています。

<p>松下耕が描く谷川俊太郎の世界 ～第7回耕友会コンサート 合唱で語る 谷川俊太郎のことば～ 日時：2014年2月2日（日） 15:30 開場 16:00 開演 場所：第一生命ホール（晴海トリトンスクエア内） （都営地下鉄大江戸線「勝どき」駅 A2a 出口徒歩8分） 料金：4,000円（当日4,500円） 全席自由 指揮：松下耕 特別ゲスト：谷川俊太郎 ピアノ：斎木ユリ / 前田勝則 / 矢吹直美（五十音順） 合唱：The Metropolitan Chorus of Tokyo / Tokyo Youth Choir / Orpheus Singers / St. Cecilia Vocal Creators</p> <p>プログラム： 混声合唱とピアノのための『すこやかに おだやかに しなやかに』 女声合唱のための『よしなうた』 混声合唱とピアノのための『この星の上で』 『minimal-for male voices』（歌詞英訳:William.I.Elliott、川村和夫） 混声合唱とピアノのための『やわらかいいのち』※東京初演 混声合唱とピアノのための『信じる』 混声合唱とピアノのための『そのひとがうたうとき』※4手ピアノ伴奏版 世界初演</p> <p>【取材について】 ※報道関係者様の取材につきましては 大変お手数ではございますが、前売り完売残席僅少のため事前にご連絡いただけますと当日スムーズにご案内が可能です。 事前連絡なしの場合、客席で演奏をお楽しみいただけない場合もございます。 ※当日の演奏中の写真撮影はお断りしております。演奏中の様子など写真素材についてはご依頼に応じて後日データでご提供致します。演奏中以外やホール外での撮影は可能です。 ※動画の撮影、素材提供については直接ご相談ください。</p>	
--	--

【本件に関するお問い合わせ先】

耕友会事務局 <http://koyukai.info/>
担当：赤田遥子（耕友会事務局） 安藤嘉規（耕友会コンサート実行委員会 広報部）
TEL:03-6676-6605 メール: office@koyukai.info

補足資料

詩人：谷川俊太郎 プロフィール

1931年東京生まれ。詩人。

1952年第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行。1962年「月火水木金土日の歌」で第四回日本レコード大賞作詞賞、1975年『マザー・グースのうた』で日本翻訳文化賞、1982年『日々の地図』で第34回読売文学賞、1993年『世間知らず』で第1回萩原朔太郎賞、2010年『トロムソコラージュ』で第1回鮎川信夫賞など、受賞・著書多数。詩作のほか、絵本、エッセイ、翻訳、脚本、作詞など幅広く作品を発表。近年では、詩を釣る iPhone アプリ『谷川』や、郵便で詩を送る『ポエメール』など、詩の可能性を広げる新たな試みにも挑戦している。

作曲家・音楽監督・常任指揮者：松下 耕 プロフィール

1962年東京生まれ。作曲家、合唱指揮者。国立音楽大学作曲学科首席卒業。ハンガリー・コダーイ研究所合唱指揮マスターコース修了。

作曲家として生み出している作品は、合唱曲を中心として多岐にわたり、それらの作品は国内のみならず、世界各国で広く演奏されている。楽譜はカワイ出版、音楽之友社など国内にて出版されているほか、SULASOL（フィンランド）、Carus-Verlag Stuttgart、Porfiri & Horváth Publishers（ドイツ）、Annie Bank Edition（オランダ）など、海外においても出版が相次いでいる。

耕友会音楽監督として12団体の指揮を務め、その他に2団体の指揮者を務めている。海外では中国・北京大学学生合唱団の客演指揮者に就任。

シンガポールの Central Judging、イタリア Gorizia の Seghizzi International Choir Competition、香港の Hong Kong International Youth & Children's Choir Festival、スペインの Tolosa Choral Competition、フランスの Florilège vocal de Tours などヨーロッパ、アジア各国で国際合唱コンクールの審査員として、またレクチャーの講師としても活躍中である。

- 2005年、合唱音楽における国際的かつ優れた活動が認められ、「ロバート・エドラー合唱音楽賞」をアジア人で初めて受賞。
- 2008年4月～2010年3月まで、NHK-FM 番組《ビバ！合唱》のパーソナリティを務める。
- 2009年、ポーランド・グダニスクにて、ポーランド室内合唱団を客演指揮、個展を開く。
- 2010年、東京にて個展を開催、東京フィルハーモニー交響楽団を指揮、オーケストラのための“De Profundis”（深き淵より）を世界初演。同年より、中国、北京大学学生合唱団の客員指揮者に就任。
2011年、台湾ユースクワイア、シンガポール SYC アンサンブルシンガーズを客演指揮。
同年、中国、深圳市より招聘され、個展を開く。深圳交響楽団を指揮し、管弦楽のための『黙礼』の世界初演を行う。
- 2014年7月、クロアチアで開催される、世界各国から優秀な歌手を集めて結成される国際合唱連合主催 World Youth Choir の指揮者に就任することが決定している。

<耕友会について>

耕友会は、作曲家・合唱指揮者松下 耕が音楽監督を務める、14の合唱団の同盟－アライアンス。

第1回 耕友会コンサートを機に2001年発足。以降定期的に耕友会コンサートを開催するほか、2005年より国内外の合唱団を招聘し「称え合い、認め合う合唱」をテーマに「軽井沢合唱フェスティバル」（現・軽井沢国際合唱フェスティバル）を主催。

加盟団体は国内外のコンクール、フェスティバルで活躍するなど、いずれも積極的な活動を行っている。

加盟団体

《混声合唱団》

Collegium Cantorum YOKOHAMA

Gaia Philharmonic Choir

室内合唱団 VOX GAUDIOSA

東京ユースクワイア

The Metropolitan Chorus of Tokyo

《女声合唱団》

Avis Libera

Brilliant Harmony

アンサンブル・ギオーネ

インターカレッジ女声合唱団 Voces Fidelis

東京レディースコンソート“さやか”

St. Cecilia Vocal Creators

《男声合唱団》

ENSEMBLE PLEIADE

インターカレッジ男声合唱団 Voces Veritas

Orpheus Singers